

H. P. Report

ASPについて (5)

日本におけるASPの今後についてですが、大前提となるいろいろな情報が不足しているため、だいたいの外れになるかもしれませんが、個人的な1つの考えとしてみてください。

ASPはいろいろな企業が参入し、活況を呈しているように見えますが、実際はどのようなのでしょうか。今回の特集でも書きましたが、日本の企業は独自のものをほしがるところがあります。他のところがつかっていたものをそのまま利用しようとするのはまずいのではないのでしょうか。割と中小企業でも自分のところの業務のやり方にあったシステムを作ろうとします。出来るだけやり方を変えたくない、独自性を持ちたいというところがあり、以前のシステム構築ではその業務のやり方をどのようにシステム化するかが問題で、仕様作りに長い時間がかかり、出来上がってからでも実際の業務と違うということで修正が続いたりしていました。いろいろなやり方があるといってもそれほど大きく違うわけではないのですが、ユーザ側の担当者が複数であった場合はそれぞれに思いが違うために、特にシステム完成が遅れたりしました。そのような状況では、ここ当分続くことが考えられ、このままではASPが普及するはずもなく、打ちあがった花火があつという間に消えてしまうことになってしまいます。

ではどの分野にASPの生き残る道があるのかですが、表立った一般企業向けのものに対してはここ当分無理なような気がします。しかし、大企業でも、その企業を中心としたシステム構築を行う場合にASPのやり方をWAN上で構築し、システムの運営を委託する方法が考えられます。1つの企業グループ間ですから、システムは同じで問題ありませんし、これまでのようなシステムでは、運用管理を行う場合、利用するそれぞれの端末に対して管理保守する必要があり、それにかかる費用もかなりのものになっていました。しかし、ASPであれば、各端末のアプリケーションはブラウザのソフトウェアだけですむわけですから、端末ごとに管理する必要はなく、システム改修が必要となった場合にも、1ヶ所で行うことが出来ます。また、各種サービスを提供するような場合にも同じようなことがいえます。インターネットのショッピングモールを構築する場合にASPも構築し、出店する店に対して必要な業務システムを提供するばかりでなく、モールとしての情報共有を図り、いろいろな情報を提供できるサービスを行うことが出来ます。確かに、ベンチャー企業向けの基幹業務システムの提供も可能性があるとは思いますが、やはり特定のユーザに対するものが中心になるのではないのでしょうか。

ASPはこれまでもいろいろありましたが、またひとつの打ち上げ花火になりそうな気がします。これからはこれが1つの流れといわれながらいつのまにか消えていってしまう。特に日本では一般的に広がるのはあつたとしてもだいぶ先になるのではないのでしょうか。日本の文化はやはりちょっと特殊です。他の国で広がっても日本で受け入れられるとは限りませんし、携帯電話のメールのように日本でだから広がったものもあるのではないのでしょうか。ASPは本格的なインターネット時代を迎え、生活の中にインターネットが不可欠になった場合に別の形態で広がるような気がします。1つの流行りもののような気がしてならないASPですが、しかし今後はASPと気づかないで、保守サービスの一部としてなどとして普及していくのではないかと考えられます。

(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 8月28日号

特集 ドリキスはプレステか？

→爆発的に普及しているゲーム機。これまではプレステ用に作られたゲームはプレステでしか動かなかったが、もうすぐドリキス用プレステのエミュレータソフトが発売となる。今後はどうなっていくのか。

解説 Ethernetが10Gビット/秒へ 通信サービスに価格破壊

→Ethernetの通信速度が10Gビット/秒となり、伝送距離も40kmに伸びる。LANの守備範囲を超えたEthernetが通信サービスの価格破壊を引き起こす。

○日経パソコン 8月21日号

特集 EXCEL上達講座

→表計算ソフトのEXCEL。マクロを使ったりしていろいろなことが出来る。他のソフトと連動しての予約システム、データベース検索などの活用まで。

特集 どれを選ぶ？手のひらサイズPDA

→Palmの新機種発売、PocketWindowsの発表、サウル巢の対抗などホットな話題の多いPDA。選択範囲の広がった手のひらサイズPDAのそれぞれの特徴は。

レポート 無料プロバイダの実力を検証

→広告が表示されるけれども無料でインターネットに接続したりホームページを開設することの出来る無料プロバイダ。ただより高いものはないということもあるが、新聞社をはじめ10社にもなる。本当に使えるのか検証。

○日経バイト 9月号

特集 リモートアクセスを見直す

→リモートアクセスサービス(RAS)を利用すると、外から社内サーバにアクセスでき、業務の効率化を図ることが出来る一面、セキュリティではバックドアにもなりうる。RASサーバを再構築するためのハードウェア、アウトソーシングサービスなどセキュリティに対処して安心なRASを構築する。

特集 インターネットが情報システムに変わる

→インターネットをWeb技術を利用して1つのシステムとして構築する時代に入ろうとしている。1つのサイトは1つのアプリケーションを提供するものになり、Web全体でシステムが構築できる。

○INTEROP 10月号

特集 Windows 2000環境へ円滑に移行するために

→Windows 2000 ServerのNTからのリプレースをする場合、細かな仕様の違いにトラブルが発生する。円滑に移行するにはどのように問題を解決していけばよいのか。

特集 携帯電話でタイムロスのない情報共有

→携帯電話は電話だけでなく、十分携帯端末として使える水準まできている。社内のグループウェアと連携してタイムロスのない情報共有が可能

となる。

○ASCII 9月号

特集 10円から3万円までの拡張グッズ全カタログ

→マザーボードからDVD、キーボード、AV関連まで。ちょっとしたカバーなどほしいものがいろいろ。

特集 Windows Me vs 2000 vs 98 全面比較対決

→Meの発表によりPCのOSの選択肢が3つになる。新しいMeがいいのか、これからのWindowsのベースとなる2000がいいのかこれまでの98で十分なのか。パフォーマンス、セキュリティ、インターフェース、マルチメディアなど横並びで比較する。

特集 Palm9機種徹底比較

→ソニーの発売で9機種となったPalm OS。19,800の低価格版からPHS通信機能つき、カラーまで。周辺機器もいろいろ。

○PC STYLE 21 9月号

特集 ハードディスク大強化

→ハードディスクを増設するための基礎知識から、万が一のデータ復旧方法まで。

特集 DVDホームシアター建設計画

→DVD-ROMのドライブを入れれば見られるDVDビデオ。せっかくならいい音で大迫力で見たい。DVDビデオの基礎知識から、各種ハードソフトの解説とホームシアター作りの実践まで。

○ASCII DOS/V 10月号

特集 コダワリ派のための「超」自作マニュアル

→自作PCを作るときにどこにこだわるか。コスト、AV、静音など、こだわりを持った自作PCの紹介。

○DOS/V magazine 9月15日号

特集 相性で選ぶディスプレイ&ビデオカード

→それほどは気にしていないディスプレイ。ましてビデオカードとの相性はよくわかっていない。ディスプレイの構造から解説。

特集 人気マザー秘密の設定

→半年でラインナップが全面入れ替えとなったマザーボード。性能比較とボード上、セットアップ画面上の設定による究極の性能比較。

特集 ビデオ編集の王道

→簡単に取り込めるようになったビデオ情報の取り込み方からノンリニア編集のやり方まで。